



市長  
黒田実

市民のみなさまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、市政の運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成となり30年目を迎えました。昭和から平成へと移り変わった当時、本市の人口は6万人台、高齢化率は約8%で、現役世代が多く毎年人口が増えていました。

時代が変わり、少子化、人口減少という流れの中でこれからも交野の活力を維持していくために、待機児童解消に向け市内の保育定員の280人以上の拡大や、こども医療費助成の中学生まで引き上げなどの子育て支援、小学校全学年での少人数クラス導入や、学校トイレの洋式化など教育環境の充実に取り組み、子育て世代の魅力づくりに努めてきました。

また、高齢化が進む中、市民のみなさまのご協力をいただきながら、元氣アップ体操の拠点を24グループから42グループに拡大し、

健康ポイント制度導入など健康寿命を伸ばす事業にも重点的に取り組んでまいりました。

昨年は、九州北部豪雨をはじめ、全国各地で甚大な被害をもたらす災害が発生し、また、10月の台風21号が近畿地方に接近・通過した際には、本市も山手地域に避難勧告を出しました。

総合防災ガイドブックの全戸配布や、市長直轄の「危機管理室」創設など、防災対策の強化を図ってまいりましたが、安全・安心の確保は市民のみなさまにとって、何よりも大切な政策といっても過言ではありません。

今年には市長戦略の成果が問われる年となりますが、子どもたちが元気に育ち、子育て世代がさらに交野にあふれ、高齢者のみなさまも住み慣れた地域で元気に過ごし、すべての世代が安心して暮らしていただける交野を旨として職員一同まい進していく所存でございます。

市政運営に對しまして変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年がみなさまにとりまして、健やかで幸多き年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 新年のごあいさつ



市議会議員  
野口陽輔

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさまには、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はみなさまのご支援とご協力により、議会運営に精励することができましたことを、心からお礼申し上げます。

我が国をめぐる情勢は依然として混沌としており、先行きの不透明感が払拭できない状況にあり、国家財政が厳しい中、本市におきましても厳しい財政運営を余儀なくされているのが現状であります。

本市では、持続的な発展のため、「公共施設等総合管理計画」をはじめ、「公立幼児園民営化基本方針」、さらには「小中一貫教育」や「公共交通のあり方」など、多くの行政計画の策定や新たな施策の取り組みが行われております。

市議会では、これらの計画や施策を市民のみなさまにとって、より良いものにするために、昨年9月から1年を通じて委員会を開

き、所管事務調査として議論を進めております。

また、本市議会は、議員の平均年齢が47・7歳であることから、慣習や前例にとられない市民目線に立った多様な意見を取り入れながら、議会活動を展開しております。

平成30年においても引き続き、議会の権能としての監視機能と政策立案機能を強化するとともに、責任ある議会としてより深い審議に努め、そして何よりも市民のみなさまに身近に感じていただけるように、「かたの市議会だより」や



「交野市議会ホームページ（議会中継）」を通じて情報を適時提供するなど、開かれた議会を目指してまいります。

市民のみなさまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

結びに、新しい年が市民のみなさまにとって健康で、喜びと幸せに満ちた1年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

